

まさし おかえりなさい和田 正さんご一家

ホワイ・ホワイ (中国名、劉 振友) 熱烈歓迎……中国残留孤児の一家六人、一時帰国



左から正さん、奥さん、長男、次男、長女、次女

涙でかすむ故郷の山河 いままさに初冬

昭和五十八年十一月二十一日、厚生援護課の竹内さんは、六日、三十九年ぶりに見えた祖国日本、今その生れ故郷の四国に、渡満の折、父や母の手を引かれ、新天地での希望をこめて、新天地で生きていく。高松港に渡って行った。高松港の横濱、三十九年振りに降り立った四国の地。それは、中国残留孤児、和田正さんの胸中を去るものではないが、当時の記憶の糸を懸命にたどるかのよう

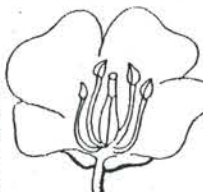
和田さん身元判明までのいきさつ

満した。昭和十九年七月次女の市子さんが病没、和田秋春さんは昭和二十年五月十九日、歩兵第四十四師団補給隊(朝鮮)に召集され、妻子と離別、所屬部隊が高松に到着した。満洲から帰国、帰国後間もなく終戦となった。一方開拓団員が終戦を知ったのは、昭和二十年の八月十六日夕方であった。その時は既に軍隊も警備も満鉄関係者も引揚げており、女と子供と老人だけとなった。おりから開拓団と現地人との間で戦闘となり、彼我の間に死者が続き出した。生存の団員は漸く拉林華陽開拓団に集結し難を逃れたが、そこで妻(千代子)さんは罹病し、昭和二十年九月に死亡した。そのため孤児となった、正と姉の千恵は現地の人に預けられ、後消息不明となり

一、孤児氏名 和田正(昭和十年十月十日生) (当時十歳) 中国名、劉振友、中国黒龍江省鉄力県鉄力双峰公社曙光大隊、第三隊居住。二、留守家族 和田秋春(當年七十五歳)妻、千恵子さんと二人暮らし、大豊町川口在住。三、和田家の略歴 和田秋春氏は、当時、妻千恵子(長女)長男(正)を伴い昭和十九年四月に、北安省慶安縣下依根開拓団(集團第九次開拓団)員として渡

地区民総出の歓迎会……川口小学校で

昭和五十八年十一月十九日、戦時死亡宣告を受けたものである。四、身元判明に至った経緯 現在、中国黒龍江省鉄力公社勸業大隊、第六隊に居住し、今年、二人の子供をつれて一時帰国している。土佐町出身の明坂三子さんから、中国名劉振友が本県出身の孤児ではないかと、との情報寄せられ、明坂さんは勿論、本人とも記憶の陳述等について文通するなかで、漸く、和田秋春氏との親子関係が確認されたものです。



川口小学校で、歓迎会場の川口小へ、民の皆さん、道などで帰国の方々にあつたあつたに接した。地区民代表で、地区公民館長猪野さんの歓迎の言葉があり、親類の方のお礼の言葉、秋山さんの乾杯の音頭で、なごやかな内会の宴が始まり、故郷の人達の温かい心につれて、帰国の旅人達は異国の地、温かい心で、この人達を迎え、励まし、一日も早く大豊の地にいらしたくうにいたしました。



「わんぱく少年」 子供のころ、僕はたいへんなわんぱく少年でした。生家は食料品店をやっていたが、お客さんの子供まで泣かせてしまうので、あの店には子供を連れて行けなと近所の人たちに言われるほどでした。そんな僕は母はとて心配して「せめて人さまに迷惑をかける人間に育ってほしい」と願っていたよう



「わんぱく少年」 子供のころ、僕はたいへんなわんぱく少年でした。生家は食料品店をやっていたが、お客さんの子供まで泣かせてしまうので、あの店には子供を連れて行けなと近所の人たちに言われるほどでした。そんな僕は母はとて心配して「せめて人さまに迷惑をかける人間に育ってほしい」と願っていたよう

「わんぱく少年」 子供のころ、僕はたいへんなわんぱく少年でした。生家は食料品店をやっていたが、お客さんの子供まで泣かせてしまうので、あの店には子供を連れて行けなと近所の人たちに言われるほどでした。そんな僕は母はとて心配して「せめて人さまに迷惑をかける人間に育ってほしい」と願っていたよう

「わんぱく少年」 子供のころ、僕はたいへんなわんぱく少年でした。生家は食料品店をやっていたが、お客さんの子供まで泣かせてしまうので、あの店には子供を連れて行けなと近所の人たちに言われるほどでした。そんな僕は母はとて心配して「せめて人さまに迷惑をかける人間に育ってほしい」と願っていたよう

「藤の花」を踊る上村優子ちゃん

A black and white photograph of a young girl in traditional Japanese attire. She is wearing a kimono with a large, circular floral pattern and a wide, dark sash. She holds a large, open parasol (wagasa) with a decorative, possibly lacquered, frame. The background is dark and indistinct. The image is framed by a white border.

の試みとして、十九日の夜ホールで町内三つのグループによる、ヤングミュージックフェスティバルを開催、当夜は丁度、農協主催による、小林幸子ショーとかみあい、係一同はたしてお客さんが来てくれるだろうか、いささか心配していたところ、案にたがわず、開	町民憲章にのっとり、今年の文化祭も多彩に渡る十一月十九日から三日間、農工センターを中心に開かれた。今年始めて	すべりだし、文化祭直接の係、都築純一君は自からバンドマスターとして活躍。
二日目舞台部門の発表、近藤英雄君のナメラかな司会でスムーズに進行して行く、カラオケ大会にも多数の出演があり、津家の豊永しげさんの、いのち唄が第一位、豊永さんの熱唱に会場からは割れんばかりの拍手、二位、森下茂（目付）三位、北村美恵子（永渕）	熱演賞、北村身幸（永渕）ユーモア賞、西梅誠（東土居）が選ばれました。三日目、区長会の後をうけて、これも今年始めての企画、商工会のお世話で、元NHKのアナウンサー、女性評	初の試みの成功に。テナーサクスの音も一段とさえました。ご出演いただいたバンドの皆さんご苦勞様でした。

町民文化祭

ヤング・ミュージックで幕開け

エレキ音ホールゆるがす

ヤングミュージック 東土居のザッツオンのメンバー



スポーツ姿で挨拶に立つ渡辺町長

好天に恵まれ、大豊中学校グラウンド一ぱいに緑が広がった。第十二回町民体育祭、十二地区公民館総て参加。開会行事のあと競技にうつり、各チームとも地区の運動会で十分の練習をつんだ選手をそろえ、仲々の接戦でした。二年連続優勝をねらった、西峰チームが各種目とも終始リードを保ち、見事連続優勝しました。一方応援合戦も賑やかに。本部席まで乗り込んでのアピールに大奮闘でした。町民こそってスポーツを楽しんだ一日でした。



お父さんを模倣するようにはいきません



応援合戦も華やかに東豊永チームの皆様



議長さんも参加で堂々の入場行進

ソフトボール・ナイター リーグ戦終了

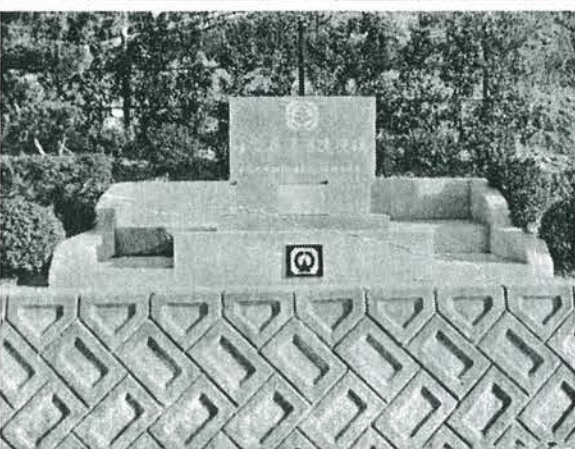


昭和58年度(第11回)大豊町ソフトボール・ナイターリーグ戦、延々6ヶ月に及ぶ長期戦でした。去る十一月十一日の二部リーグ優勝決定戦を最後に全日程を終了、二十一日各チームより2名出席し、日々の戦いに荒れたグラウンドの整理や、周辺の清掃活動が実施され、ひと夏の戦いのあとにそれぞれ感慨を残して、七時半農工センターで、町長、体育会長、出席のもと表彰式が実施された。

故小笠原清浩氏の遺徳を讃え、

頌徳旗並びに頌徳碑建立

故小笠原清浩氏は旧大杉村小川に生れ、明治大学を卒業後、昭和二十二年旧大杉村の議員当選以来、八十年、大豊村発足とともに大豊村議会議員として十二年、通算五期二十年、この間、議長、副議長等を歴任、その間、中州総合グラウンド用地(現在の東豊永村広場)を当時の所有者である、四国電力から、大豊町に譲り受けるため積極的に行われた表彰式に故小笠原清浩氏の頌徳旗が優勝チームに手渡されました。



農村広場に建立された故小笠原清浩氏の頌徳碑

第12回 町民体育祭

『西峰』堂々の連続優勝

2位 豊永地区公民館

3位 大田口地区公民館



ふたたび優勝旗は西峰地区館長前田波穂氏の手に



やっぱり岩原地区ではこの人が出なくちゃあ……



二人の息もピッタリ合って

山本先生、テープを持つ手も思わず緊張

1部リーグ優勝 豊永観光 10勝1敗
2部リーグ優勝 落合クラブ 8勝2敗
最高殊勲選手 上池 重勲 (豊永観光)

一部リーグ準優勝
シルクロード
東部クラブ
二部リーグ準優勝
ゆかりエンジェルズ
敢闘賞
オール治山スターズ



体育会長から豊永観光に優勝旗が



最高殊勲選手の
上池さん



体育会長から落合クラブに優勝旗が



明るい選挙推進協議会長

中西盛興さん

自治大臣表彰に輝く

大豊町の明るい選挙推進協議会の会長であり、県推協の役員もなさっている、前大豊園々長の中西さんが、この度、明るい選挙に尽くされた功績が認められ、自治大臣から表彰されました。この伝達式が、去る十一月、農工センターで行なわれた町推協の席で手渡されました。明るい選挙とすじに打ち込まれている中西さんのご苦労に心から感謝し、又お喜び申し上げます。



表彰の伝達を受ける中西会長

東豊永地区公民館長

小松俊雄氏

永年勤続表彰受く

全 公 連 より



東豊永地区公民館長の小松さんは、地区館長として永年の功績が認められ、十二月二日、東京の赤坂プリンスホテルで行なわれた第32回全国公民館振興大会に於て連合会長より表彰されました。小松さんは三十五年、二十三年間の長きにわたり地域の公民館活動・社会教育に尽くされた功績が認められたものです。

地区館長、主事研修

香川県綾南町を視察

明るい社会づくりに貢献

釣井正亀さん表彰

明るい社会づくり

高知県推進協議会より

去る十一月五日、高知市 催され、席上、杉の釣井さんに於て、第十四回明るい社会づくり高知推進大会が開かれ、過去における様々な会づくり高知推進大会が開かれ、社会浄化のための功績が認め

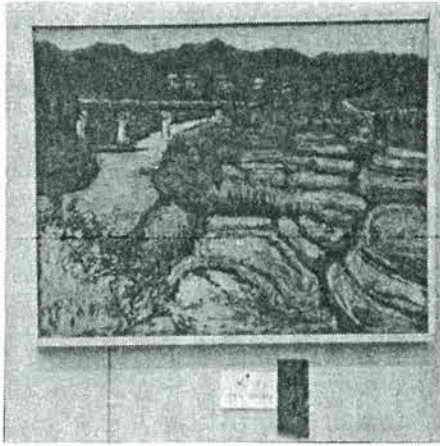
められ、善行者として表彰されたものです。釣井さんは、「大杉の番人」と自称し、本町への観光客誘致に活躍されています。(なお、この話題は、葛原の石川和男さんから寄せられたものです)

第13回 嶺北総合美術展

秋山勝重さん (写真) 特選入賞
朝比奈富美男さん (絵画)

特選入賞

嶺北総合美術展、今年は大豊町が当番、年度当初から係の朝比奈君、各町村との打合せ、日程の調整、審査の先生方へのお願い、表彰状の準備、賞品の選定と多忙の中で、自らは、絵画教室、写真教室のお世話をし、その中で今回は絵画は特選に、写真は褒状に入賞するなど大活躍、会員の皆さんから祝福を受けていました。東寺内の、秋山勝重さんも今年は金の射をとし、見事に特選、又、彫塑工芸の部では、栗生の住職さんが褒状に、書道は、七十八歳の高輪で今なお筆をとられている、立川の石川多満恵さん、他に東土居の西村浩一さんが昨年に引き続き褒状入賞するなど、大豊勢の活躍があり、私達お世話をさせていただける者にとって大変喜ばしいことでした。なお、入賞の方々の氏名を発表し、惜しくも入賞を逸した方は来年こそ又頑張ってください。入賞の持帰は、米年もお出度うございました。米年、又、よろしく。



特選入賞の朝比奈さんの絵



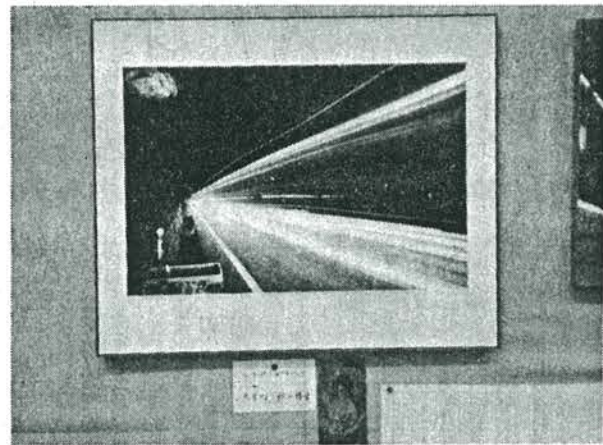
褒状入賞の秋山勝重さんの白絹



褒状入賞の釣井さんの仏頭(工芸)

各部門別特選 及び褒状入選者

- 各部門別入選者
- ◇絵画◇
特選 秋山勝重(写真)、朝比奈富美男(絵画)
褒状 豊高(日浦)、朝比奈富美男(高須2点)、西岡里志(久寿軒2点)、小笠原信夫(大下)、山本桂(高須)、谷谷(落合)、岡本伸雄(穴内)
◇書道◇
褒状 石川多満恵(立川)、西村浩一(東土居)、西村浩一(東土居)、原延(大下)
◇写真◇
特選 シートン、秋山勝重(東寺内)、褒状 朝比奈富美男(高須)、川辺の朝、岩崎昭雄(大下)
◇工芸◇
褒状 釣井正亀(仏頭)、飯田和子(高須)、西村浩一(東土居)



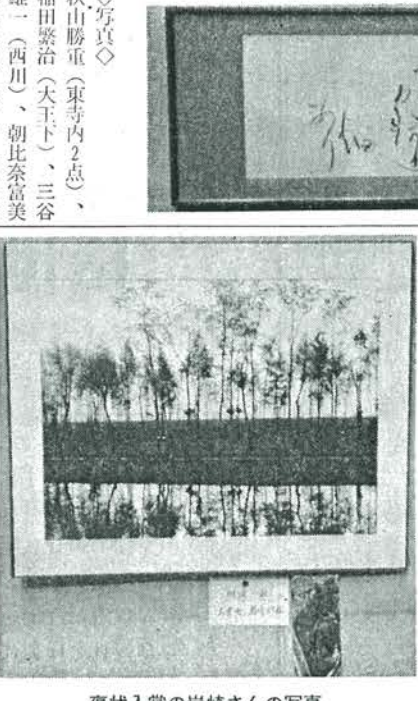
特選入賞の秋山さんの写真



褒状入賞の西村さんの書道



褒状入賞朝比奈さんの写真



褒状入賞の岩崎さんの写真



美術展の会場風景

あいさつは人と人をつむすぶにじ

地域ぐるみ教育活動

大田口小学校 校々下



大田口小学校教育振興会「会長中西盛興氏」は、同小
学校のPTAと提携し同校
における施設整備などの充実
改善を図ると共に教育を通
じて地域の育成発展向上
に貢献する目的で同校下14
部落の家庭（通学児童のな
い家庭も含む）から年間二
〇〇円の会費を徴収して各
種の事業を実施し、地域ぐ
るみで教育活動に取り組ん
でいます。今年の事業の一
つとして、校下から「生活
標語」を募集し、その中か
ら選んだもの十四を、標柱
にし、町かどや部落の人の
よく通るところに建てると
になり、十一月六日、町
民体育祭の日に、会長や区
長さんなどが建てを始
めました。大田口校下のあ
ちこちに、新しい標柱が目
にとまります。
スマンガこえ建ててさしてヤ……
ハイハイ、どうぞ、手伝おカネエ……
会長、区長、PTAの方で建て始め
標柱とともに新しい地域

保健と医療・健康について

本山保健所医師 竹島 正

最近よく聞く言葉に「健康・福祉・行政」の
イマリ・ヘルス・ケアとい
うのがあります。これは、
第一線医療すなわち庶民大
衆と直接に接し、その医
療の要求にこたえ、その問
題を解決するとともに、コ
ミュニティの保健の責任を
取り、その健康水準を維持
するための健康教育および
疾病予防等の諸活動の総称
を言います。
すこし難しく長い引用
ですが、ここにあげられた
サービスは、医療（保険診
断）自己参加集団の育成、今後

非補助土地改良資金

融資ご案内

（注）市町村が行なう事業
間を含む）
農林漁業金融公庫では、
田、畑、牧野の改良・造成
等に必要で、長期低利の非
補助土地改良資金（三・五
％）の借入申込みを受け付
けています。
【融資対象事業】かんがい
排水、畑地かんがい、ほ場
整備、暗渠排水、客土、農
道、索道、わさび田造成、
農地造成、維持管理等。
【融資限度額】一人当りの
必要額が、五〇〇万円まで
は一〇〇％、これを超過する
部分は八〇％。
【借入資格】農業を営む者
土地改良区、農協等。（個
人又は数人で行なう共同施
行も対象となります）
【利率】年三・五％
【償還期限】二五年以内
（うち一〇年以内の据置期
間を含む）
【融資限度額】一人当りの
必要額が、五〇〇万円まで
は一〇〇％、これを超過する
部分は八〇％。
【借入資格】農業を営む者
土地改良区、農協等。（個
人又は数人で行なう共同施
行も対象となります）
【利率】年三・五％
【償還期限】二五年以内
（うち一〇年以内の据置期
間を含む）

道路台帳整備

事業にご協力を

大田町では、五十八年度
から、町道及び農林道台帳
の図面と調査を、航空機に
よる空からの写真撮影及び
地上測量等によって、作成
することになりました。
つきましては、撮影に先
だち、空からの目印となる

進学資金の融資が受けられます

国の進学ローン

受験シーズンを迎え
て、ご家庭ではどんな
進学プランをお持ちで
すか。入学を前にして
入学金や授業料など進
学に必要な資金の準備
はお済みですか。
国民金融公庫と沖縄
振興開発金融公庫では
「国の進学ローン（進
学資金貸付制度）」とし
て、進学に必要な資金
を融資しています。ま
た、労働省所管の特殊
法人雇用促進事業団で
は、財形貯蓄をしてい
る勤労者を対象に「財
形進学資金融資」を行
っています。
制度のあらましは、
それぞれ次のとおりで
す。

- 国民金融公庫と沖縄振興開発金融公庫では「国の進学ローン（進学資金貸付制度）」として、進学に必要な資金を融資しています。また、労働省所管の特殊法人雇用促進事業団では、財形貯蓄をしている勤労者を対象に「財形進学資金融資」を行っています。
- 申込期間 昭和五十八年十一月一日～五十九年四月三十日
- 申込窓口 国民金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、銀行、相互銀行、信用金庫、



わが町の国指定文化財・国宝豊楽寺（薬師堂）
重文・立川番所・岩原・永淵・神楽・民具2,595点

大切な文化財を後世に伝えよう

わが国には、建造物や美術工芸品などの優れた文化財が数多くあります。しかし、わが国の文化財の多くは、木・紙・布など、火災により損傷を受けやすい材質で作られています。

1月26日が「文化財防火デー」とされたのは、昭和24年のこの日に国民的な財産であった法隆寺金堂の壁画が焼損したこと、そして、ちょうど火災の多いシーズンに当たっているためです。

この日を機会に、一度と法隆寺金堂壁画の悲劇を繰り返さないという決意を新たにしたいものです。

文化財防火デー
1月26日



やまびこ

（故）鎌倉 清繁
城跡の石垣を抱く葛葉紅
里の秋満月の幸子ジョー
唐舞回す音が初雪連れ
てくる
秋山 洋子
味噌作り一人てなごな
秋日落つ
鎌倉喜美術
文化祭火鉢に生けし
花八つ手
猪野 義晴
若い月 史蹟の井戸の
底に漏れ
秋山 良恵
髪染める「サイタサイタ」
は忘れぬ
石川みゆき
樺島鳴く 造林山の一枝に
杉本 賀美
花八つ手 中国孤児を
待つ話
徳弘 妙子
移民船の話も忘れた
父 四温
猪野 博文
潮枯れの椿くぐって蹠蹠
秋山 成子
佇んで落葉の絨氈 遠い唄
森 武司
見ましたか 寺の裏手の
落葉修羅
◇日めくりの暦に、日々の
雑事に追われ、自然と共に
待たせて……
（石川）

編集後記

◇一年を振り返って、この
一年はど血闘事件の多か
ったこと、せめて心温まる
明るいニュースは……
◇中国孤児のご家庭二組の
方々の帰国でした。
◇昨年暮、肉親さがしに帰
国した孤児達……私は祖国
の土を踏めただけで幸です。
◇肉親にあえず悲しく帰国
した二十名、万感の思い。
◇せめて来る年は、幸せで
あるよう、除夜の鐘の音に
希望をたくし新しい年に期
待して……
（石川）